

「8020 運動」 実績調査の概要

平成 17 年 5 月

～ 社団法人 兵庫県歯科医師会 ～

I 「8020 運動」実績調査の概要と経緯

兵庫県国民健康保険団体連合会(以下「国保連合会」という)は、地域医療の確保等、住民の健康増進に大きく貢献しているが、近年、高齢社会の進展や、疾病構造の変化および医療技術の高度化等により医療費は増嵩を続けていることから、国民健康保険財政はきわめて厳しい状況にある。

このような状況にあつて、国保連合会は、将来にわたり国保財政の安定的運営を確保し、地域保険としての特性を生かしつつ、住民が健康で安心して暮らせるよう、より一層保健事業を充実強化することが求められている。

そこで、国保連合会は、平成 6 年より、多田羅浩三(大阪大学医学部教授)氏を会長とし、委員 18 名による「国保団体連合会保健・医療・福祉問題協議会」(以下「協議会」という)を発足させた。

この協議会で議論を重ね、国民健康保険レセプト情報を有効に活用するとともに、高齢者対策を見据えた保健事業を展開していくため、平成 6 年から実施している国民健康保険疾病分類統計を継続して分析し、保健・医療・福祉の相互連携のあり方を含め、総合的な保健事業の推進を図ることを目的として、「国保医療費構造 疾病構造等の分析」を作成し、市町国民健康保険主管課と保健事業担当課の密接な連携のもと、保健推進計画の策定や保健事業等の基礎資料として活用されることを願い、継続してこの事業を行っているものである。

「8020 運動」実績調査は、平成 12 年度の協議会で決定し、兵庫県歯科医師会ならびに会員医療機関が協力して、平成 13 年 5 月診療分、平成 14 年 5 月診療分、平成 15 年 5 月診療分、平成 16 年 5 月診療分レセプトの調査を行った。

以下、その概要を報告する。

1. 「8020 運動」実績調査の目的

国保連合会が保有するレセプトデータを活用し、「健康日本21」における歯の健康指標である「8020 運動」について、咀嚼機能を有する者とそうでない者の健康状態を比較することにより、歯の健康が全身にどのように関わっているかを検証し、「8020 運動」の推進に対する支援を目的とする。

2. 調査の対象

歯科の老人保健(70 歳以上)レセプト全件を対象とした。ただし、兵庫県歯科医師会会員であつて調査協力が得られた歯科保険医療機関分(以下「歯科医療機関」という)のレセプトを基礎データとした。

3. 実施月

- 1)平成 13 年 5 月診療分(6 月審査分) 2) 平成 14 年 5 月診療分(6 月審査分) 3)平成 15 年 5 月診療分(6 月審査分)
- 4)平成 16 年 5 月診療分(6 月審査分)

4. 調査方法

1)平成 13 年 5 月診療分(6 月審査分)

歯科医療機関から提出のあったレセプトの傷病名部位欄に、70 歳で 20 本以上の歯が残っている者は○、そうでない者は×の記載があり、○×の表示がある歯科レセプトの老人保健受給者番号と医科レセプトの老人保健受給者番号の突合を行い、医科レセプト(主病)等を抽出した。

2) 平成 14 年 5 月診療分(6 月審査分)

3)平成 15 年 5 月診療分(6 月審査分)

歯科医療機関から提出のあった老人保健レセプトの傷病名部位欄に、歯数の記入のあるものを抽出し、市町村番号と老人医療の受給者番号を基に医科の老人保健レセプトとの照合を行うことによって、疾病(主病)や医療費の状況を調査した。

4) 平成 16 年 5 月診療分(6 月審査分)

歯科医療機関から提出のあった老人保健レセプトの傷病名部位欄に、歯数の記入のあるものを抽出し、市町村番号と老人医療の受給者番号を基に医科の老人保健レセプトとの照合を行うことによって、疾病(主病)や医療費の状況を調査した。また、咬合位が保持されているかどうかを調査項目に加えた。

5. 調査対象データ

	7020 達成者と非達成者の合計歯科データ	歯科とマッチングした医科データ
平成 13 年 5 月	27,627 件	47,128 件
平成 14 年 5 月	41,714 件	71,394 件
平成 15 年 5 月	36,146 件	62,320 件
平成 16 年 5 月	32,743 件	55,469 件

II 医科・歯科別 1 件当たり点数

(平成 13 年 5 月診療分、平成 14 年 5 月診療分、平成 15 年 5 月診療分、平成 16 年 5 月診療分)

表 1 平成 13 年 5 月診療分調査結果

(7020 達成者、非達成者との比較)

		歯科(平成 13 年 5 月分)		医科(平成 13 年 5 月分)		平成 13 年 年間平均点数	
		達成者	非達成者	達成者	非達成者	達成者	非達成者
1 件当たり点数	達成者	1,818.5 点		2,091.2 点		2,428.8 点	
	非達成者	1,983.7 点	+9.1%	2,528.9 点	+20.9%	2,986.4 点	+23.0%

※ 一年間の平均点数は、該当医科レセプト 555,724 件を集計した結果である。

表2 平成14年5月診療分調査結果

(7020 達成者、非達成者との比較)

1件当たり点数	区分	歯科(平成14年5月分)		医科(平成14年5月分)		平成14年 年間平均点数	
		達成者	非達成者	達成者	非達成者	達成者	非達成者
	達成者	1,903.0点		1,938.7点		2,217.6点	
	非達成者	1,984.6点	+4.3%	2,282.9点	+17.8%	2,471.7点	+11.5%

※ 平成14年一年間の医科の達成者、非達成者の平均点数は現在集計中。

※ 平成14年5月診療分調査は、平成14年4月の診療報酬マイナス改定の影響を考慮する必要がある。

表3 平成14年5月診療分調査 歯数区分別歯科・医科1件当たり点数の状況

歯数(本) \ 区分	歯科	達成者との比較	医科	達成者との比較
0~4本	2,015.7点	+5.9%	2,607.7点	+34.5%
5~9本	1,907.1点	+0.2%	2,311.6点	+19.2%
10~14本	1,958.4点	+2.9%	2,133.2点	+10.0%
15~19本	2,043.0点	+7.4%	2,022.6点	+4.3%
0~19本(非達成者)	1,984.6点	+4.3%	2,282.9点	+17.8%
20本以上(達成者)	1,903.0点		1,938.7点	

※ 残存歯数が少ないほど1件当たり点数が高くなっている。

表4 平成15年5月診療分調査結果

(7020 達成者、非達成者との比較)

1件当たり点数	区分	歯科(平成15年5月分)		医科(平成15年5月分)		平成15年間平均点数 集計中
		達成者	非達成者	達成者	非達成者	
	達成者	1,777.9点		1,861.1点		
	非達成者	1,848.6点	+4.0%	2,289.6点	+23.0%	

※ 平成15年一年間の医科の達成者、非達成者の平均点数は現在集計中。

表5 平成15年5月診療分調査 歯数区分別歯科・医科1件当たり点数の状況

歯数(本) \ 区分	歯科	達成者との比較	医科	達成者との比較
0~4本	1,880.6点	+5.8%	2,642.4点	+42.0%
5~9本	1,830.9点	+3.0%	2,273.7点	+22.2%
10~14本	1,833.8点	+3.1%	2,098.2点	+12.7%
15~19本	1,840.0点	+3.5%	2,070.7点	+11.3%
0~19本(非達成者)	1,848.6点	+4.0%	2,289.6点	+23.0%
20本以上(達成者)	1,777.9点		1,861.1点	

※ 残存歯数が少ないほど1件当たり点数が高くなっている。

表6 平成16年5月診療分調査結果

(7020 達成者、非達成者との比較)

1 件当たり点数		歯科(平成16年5月分)		医科(平成16年5月分)		平成16年間平均点数
		達成者	非達成者	達成者との比較	非達成者との比較	
	達成者	1,615.0 点		1,776.4 点		集計中
	非達成者	1,696.0 点	+5.0%	2,221.3 点	+25.0%	

※ 平成16年一年間の医科の達成者、非達成者の平均点数は現在集計中。

表7 平成16年5月診療分調査 歯数区分別歯科・医科1件当たり点数の状況

歯数(本) \ 区分	歯科	達成者との比較	医科	達成者との比較
0~4本	1,737.2 点	+7.6%	2,649.2 点	+49.1%
5~9本	1,655.1 点	+2.5%	2,190.2 点	+23.3%
10~14本	1,693.9 点	+4.9%	2,113.6 点	+19.0%
15~19本	1,684.8 点	+4.3%	1,858.1 点	+4.6%
0~19本(非達成者)	1,696.0 点	+5.0%	2,221.3 点	+25.0%
20本以上(達成者)	1,615.0 点		1,776.4 点	

※ 残存歯数が少ないほど1件当たり点数が高くなっている。

■新歯科医師臨床研修制度（平成18年度より必修化）

研修目標

患者中心の全人的医療を理解し、歯科医師としての人格を涵養すること
総合的な歯科診療能力を身につけ、臨床研修を生涯研修の第一歩とすること

研修期間

1年以上（原則1年間）

対象

診療に従事しようとする歯科医師
平成18年4月1日以降に歯科医師免許申請を行い、免許を取得した者

実施機関

大学病院（歯科医業を行う病院のみ）
臨床研修施設（指定を受けた病院、診療所）
研修協力施設（研修プログラムに登録された病院、診療所、保健所、社会福祉施設、介護老人保健施設、へき地・離島診療所等）

臨床研修施設の種別

単独型臨床研修施設（常勤歯科医師3名以上の病院・診療所）
管理型臨床研修施設（常勤歯科医師2名以上の病院・診療所）
協力型臨床研修施設（常勤歯科医師2名以上の病院・診療所）
管理型＋協力型：臨床研修施設群

実施方法

研修プログラムに基づいて実施（研修プログラムも審査を行う。）

研修歯科医の処遇

労働基準法を遵守

修了の認定

単独型・管理型臨床研修施設の管理者が認定

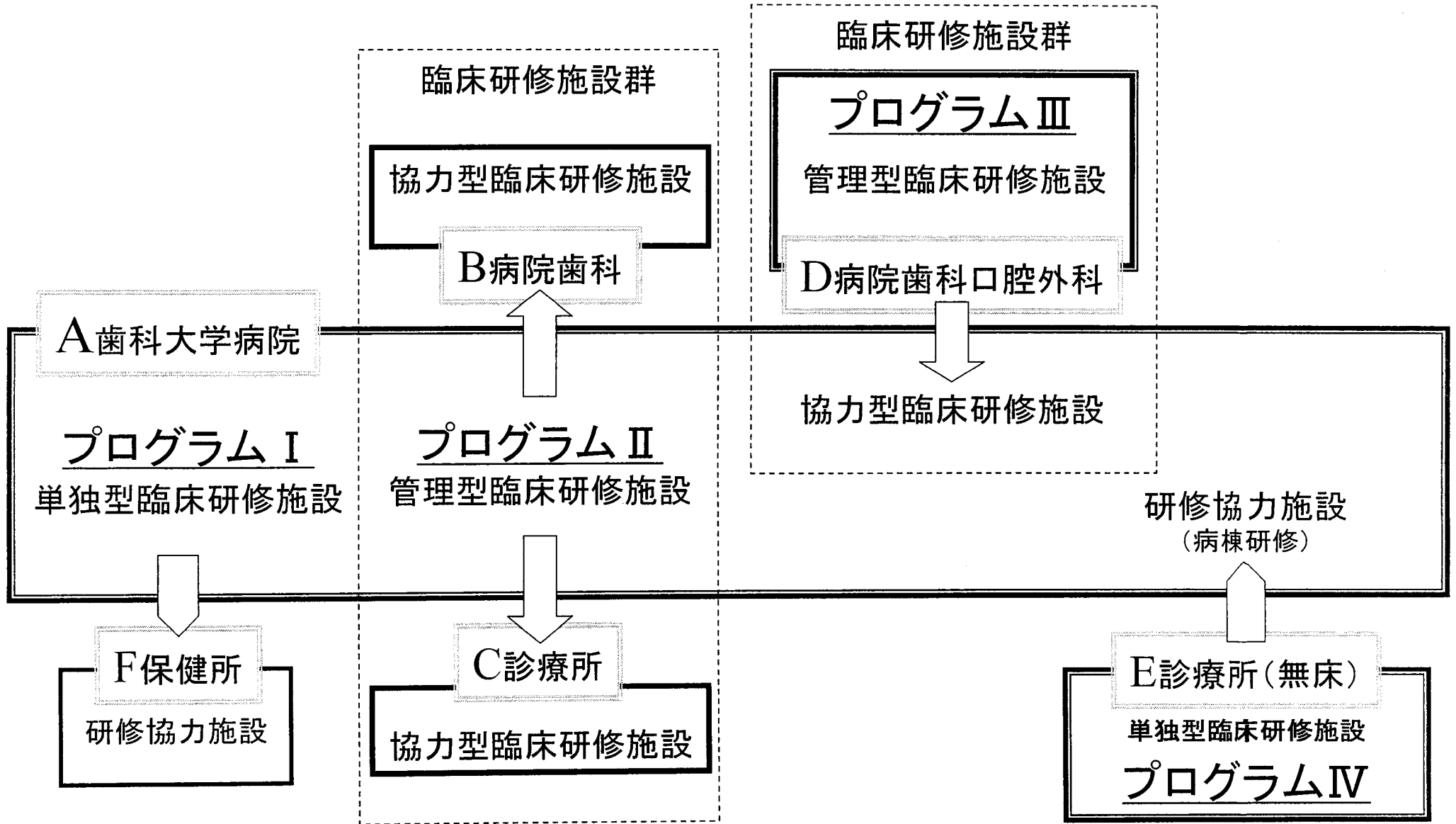
修了後の手続

歯科医籍に臨床研修修了歯科医師として登録

臨床研修を修了していない歯科医師

病院等の開設者・管理者になれない

臨床研修施設(群)と研修プログラム



歯科医師臨床研修マッチングとは

歯科医師臨床研修マッチングとは、臨床研修先を決定するため、研修希望者と臨床研修施設の研修プログラムとを、それぞれの希望を踏まえて、一定の規則（アルゴリズム）に従って、コンピューターにより組み合わせを決定するシステムをいう。

歯科医師臨床研修マッチングは、歯科医師臨床研修マッチング協議会（※）が実施。

【目的】

研修希望者と研修プログラムの最適の組み合わせを実現する。

【特徴】

- ・研修希望者に対しては、公平な選抜とプログラム選択の自由とを保障。
- ・研修プログラム実施側としては、質的充実に見合った人材の確保が可能。

【必要性】

- ・研修施設が公募で採用を行う場合、研修希望者が複数の施設に採用希望を出すことになるため、内定辞退者による欠員や過剰採用への対応が必要となる。
 - ・研修希望者が複数施設から内定を受け取った場合、締切日の差異などにより、希望の施設と契約を結ぶことができない可能性がある。
- ⇒ このような非効率を回避するため、全国一斉に、すべての研修希望者と研修施設が合理的かつ効率的に組み合わせを決定することが必要。

<参 考>

（※）歯科医師臨床研修マッチング協議会

歯科医師臨床研修マッチングを有料職業紹介業として実施。

会長 江藤 一洋（日本歯科医学教育学会理事長）

（構成）協議会は、以下の4団体をもって構成する。

- ◆ 社団法人 日本歯科医師会
- ◆ 社団法人 日本私立歯科大学協会
- ◆ 国立大学歯学部長・歯学部附属病院長会議
- ◆ 財団法人 歯科医療研修振興財団

（事業）協議会は、目的を達成するため、次の事業を行う。

- （1）研修歯科医マッチングに関する情報提供及び相談事業
- （2）研修歯科医マッチングの実施
- （3）研修歯科医マッチングに関する調査・研究
- （4）研修希望者尾及び研修歯科医に対する支援事業
- （5）その他臨床研修を円滑に実施するために必要な事業

2005年度歯科医師臨床研修マッチングの結果(概要)

歯科医師臨床研修マッチング協議会

1 歯科マッチングへの参加状況

参加状況は表1のとおり。

【表1 2005年度歯科マッチング参加状況】

	2005年度
参加者数	3,648名
希望順位登録者数	3,584名
希望順位未登録者数	64名
参加者最大希望順位登録数	21
参加者最小希望順位登録数	1
参加者平均希望順位登録数	4.38
研修プログラム数	247
参加施設数	179
募集定員	3,797名

2 歯科マッチングの結果の概要

結果の概要は、表2及び表3のとおり。

【表2 全体のマッチ率】

	2005年度
希望順位登録者数 (A)	3,584名
マッチ者数 (B)	3,367名
マッチ率 (B) ÷ (A)	93.9%

【表3 全マッチ者数に対する希望順位ごとのマッチ者数及びマッチ率】

	マッチ者数	マッチ率
第1希望マッチ者数	2,382名	70.7%
第2希望マッチ者数	476名	14.1%
第3希望マッチ者数	219名	6.5%
第4希望以下のマッチ者数	290名	8.6%
計	3,367名	100.0%

(注) 第3希望まででマッチした希望順位登録者の割合は全体の91.4%である。